No. 7
2023年 秋号

大津支え協だより

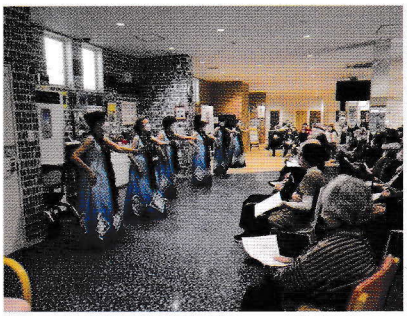
発行：大津地域支え合い協議会
（生活支援体制整備事業：大津地区第２層協議体）

大津支え協は、皆さんがいくつになっても住み慣れた町で、活き活きと生活をしていくことを目的に、生活支援サービスや通いの場（サロン等）を通じて高齢者の社会参加の促進を目指します。

大津地区ボランティアセンターの活動

大津地区ボラセンには、18団体と個人の方がボランティア登録しています。

各施設、各町内・自治会イベント、ふれあいサロンなどへ出向いてのマジック、フラダンス、お琴演奏などのほか、ご自宅に伺ってのゴミ出し、話し相手や折り紙指導などの講師派遣も行っています。



フラダンス

書道講師の派遣

ボランティアの方々も、それぞれの地域の皆さまと一緒になって喜んでおり、また、ボランティアさん達も日頃の練習成果を発表できるのでやり甲斐があると聞いております。

これからは、地域でどの様なボランティア・支え合い活動が求められるのか、ニーズに合わせた体制が必要と考えています。

大津支え協問い合せ先：大津地区ボランティアセンター　８３４-２４８７

新しい団体の活動も始まっています

馬一お手伝い会　（馬堀町一丁目地区）

今年の5月29日にキックオフ！

活動開始しました。　早々に依頼、相談が舞い込んでいます。

地域住民が地域で困っている人を互いに支え合うことで助けられないものか…

それができれば少しの困りごとがあっても、いつまでも住み慣れた地域で生活を続けられるのでは…

そんな有志が集まって活動開始に向けて動き出しました。

開始までの経緯は次の通りです。

- 準備会立ち合上げ、イメージや着地点の共有
- 町内会や民生委員に協力要請
- 自分たちが出来ること出来ないことの精査
- 地域住民に向けてアンケートとサポーター募集
- 町内会の回覧で地域住民に趣旨説明
- サービス開始～利用者募集チラシを回覧

草刈り、ゴミ出し、買い物ほか

地域で支え合いの活動している６団体の皆さんとの「交流・意見交換会」を行いました。

2023. 4. 25　大津コミュニティーセンターにて

大津支え協は、ご近所どうしの「支え合い活動」や「通いの場」を行う団体が地域内に拡がるよう活動しています。

以前は「支え合い・助け合い活動」が中心でしたが、多くの団体が『通いの場』として散歩・運動の会・講話や勉強会・見守り・安否確認などに着手し、活動範囲が広がってきています。

大津シーハイツ・サポートクラブ、馬堀台団地お助け隊、コーポ湘南大津サポートの会、馬堀海岸４丁目助け合いの会、シーハイツ（馬堀海岸１丁目）助け合いクラブ、桜が丘東映・福祉サポーター　（順不同）